

# 事業費70数億円の常名総合運動公園計画 用地買収着手から25年一步も進まず 用途変更して都市公園として整備を

井上圭一議員の  
一般質問



常名総合運動公園計画は、平成4年から用地買収に着手し、約80億円で約24ヘクタールを買収しましたが、残り1.8ヘクタールは地権者の同意が得られず、現在に至っても同意を得る見通しは全くありません。

井上圭一議員は、市民の莫大な血税で買収した土地を有効利用するためには、用途を変更して、水郷公園のような市北部の都市公

園として整備すべきではないかと執行部の見解をいただきました。

答弁に立った都市整備部長は、「基本計画に沿った(運動公園の)整備に向けて、今後とも粘り強く用地交渉を行っていく」と、これまでの答弁を繰り返しました。

この20年以上、地権者に会ってももらえず、状況を変える見通しは全くありません。市民団

体からも、市内のスポーツ施設は、川口運動公園、新治運動公園、水郷体育館、水郷公園などがあり、社会情勢も変化しており、70億円以上の経費をかけてさらに運動公園をつくる必要はあるのか、という声が市に寄せられています。

## いじめ問題にいっそう力を! 教育委員会HPの改善求める

今年2月の土浦市教育総会で教育長は、いじめ問題について、「いじめは必ずある。子どものちよとしたシグナルを見逃さないことが、いじめの未然防止、早期発見につながる」と強調していました。

井上圭一議員は日本共産党のいじめ対策の提案を紹介し、執行部の見解を求めました。また、市教育委員会のホームページでの各学校の取り組みの紹介が不十分であることを指摘し、改善を求めました。答弁に立った教育長は、いじめ問題の取り組みの重要性を強調するとともに、ホームページの改善についても早急に取り組むと答えました。

## 小松坂下交差点 南北方向に右折信号設置 狭い通学路に安全まもるためのグリーン帯設置

井上議員の  
質問実る

昨年の9月議会で、小松坂下交差点に右折信号の設置を、また、第二小学校前の通学路に安全確保のためのグリーン帯の設置を求めて質問しました。

このほど、そのいずれも実現されたことが分かりました。



小松坂下交差点に右折信号設置



第二小学校前の通学路にグリーン帯設置

## 来年10月から家庭ゴミの有料化へ!! 県内一高い手数料 久松猛議員が議案質疑に

市の計画では、今年の5月に手数料に関する条例の改正についてのパブリックコメントを実施し、今年の9月議会で

料化とするための条例改正案を議会に提出するとしています。そして、これが可決すれば、来年10月から有料化のスタートとなります。



土浦市の家庭ごみ一人当たり排出量は、全国平均及び茨城県平均よりも多く、ごみの減量は大きな課題となっているのは事実です。しかし、日本共産党土浦市議団は、安易に有料化することではなく、資源ごみの分別の徹底を

粘り強く啓発していくことだと考えています。

市が考えている手数料は、1リットル1円程度とし、45リットル袋は50円、30リットル袋は30円、15リットル袋は15円とする方向です。しかし、この金額は県内で有料化している自治体の中で最も高い金額となります。

県内の主な市の家庭ゴミ処理手数料 (円)

	450袋	300袋	200袋	150袋
<b>土浦市(案)</b>	<b>50</b>	<b>30</b>		<b>15</b>
水戸市	30		15	
日立市	30	20	13	
北茨城市	30	20	15	
ひたちなか市	20		15	
小美玉市	20	15		
笠間市	20		10	

## 東海第二原発延長やめよ」など市民の請願・陳情3件が全会一致で採択

○運転期間40年を迎える東海第二原発の運転期間20年延長申請を行わないよう働きかけることを求める意見書提出についての請願(井上圭一議員が紹介議員)

○後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書提出についての請願(久松猛議員が紹介議員)

○「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書の採択を求める陳情

以上の3件の請願・陳情は全会一致で採択されました。

また、「『テロ等準備罪』を新設する組織犯罪処罰法改正案に反対する意見書提出を求める陳情書」と、協同病院労組から提出された「茨城県厚生農業協同組合連合会に対し、地域医療を担う公的医療機関の開設者として責任ある運営をするよう、土浦市として要請することを求める陳情書」は継続審査になりました。